

学生ボランティア 防犯活動の活性化を 岡山県警で意見交換

岡山県警は16日、県内12大学・短大でつくる学生防犯ボランティア連絡会「おにたいじ」のメンバーを対象にしたフォーラムを県警本部

部で開き、活動をより国際大の学生や県警生
活性化させる方策など 活安全企画課員ら約20
について意見を交わし 人が参加。活性化策の
ほか、活動に参加する 極的に勧誘する」「交
を求めた。

就実大・短大、岡山 人員を増やすアイデア
商科大、県立大、吉備 などを3グループに分
流サイト（SNS）で 吉備国際大3年住田
発信する」といった意 春輝さん(20)は「他大
見を出し合った。

県警は、若者が巻き 聞けて参考になった。

込まれて社会問題化し 少しでも被害が減るよ
ているアルバイトや、昨 う活動を続けていき
年11月施行の自転車走 い」と話した。

行中の携帯電話使用 (三宅信行)

ら学生が話し合う活性化策などの活動について



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。